

八木村より西は吉山村に至る、袤五里餘、南は打越村より北は小河内村に至る、四隣東は安藝郡南は府治の地なり、それを隔て、江波島なり、南より西は佐伯郡、西より北は山縣高宮の二郡なり、祇園町を以て郡本とせり、○中略

按に當郡上古は佐伯郡の内なり、中古分ちて二郡とし、東を佐東、西を佐西とよべり、後佐西郡を以佐伯郡とし、佐東郡を沼田郡となせり、然るに沼田は日本紀倭名抄、皆安藝國東境の地となせれば、今の豊田郡、南のかたと見へたり、

〔日本後紀五桓武〕延暦十五年十一月己酉、安藝國沼田郡采女佐伯直那賀女授外從五位下、

賀茂郡

〔藝藩通志七十八〕賀茂郡 疆域形勢 風氣沿革附

賀茂郡は上京都賀茂神領の地なるを、以此名を得たりといふ、○中略藩府の東七里許にありて、安藝豊田二郡の間にあたれり、廣七里許、東は下野村より西は津江村に至る、袤四里餘、南は三津村より北は造賀村に至る、四隣東北は豊田郡、西は安藝郡、西北は高田、高宮二郡、南は海なり、西條四日市を以郡本とす、

當郡東北及び西は群山環り峙つ、南一面は海に沿ひ、安藝豊田の諸島に對す、郡の諸水は多く北より南に流れ、黒瀬川を大なりとす、陸路には西に瀬野大山、東に瓦迫、中に松子山あり、海路は西に猫門ありて、東は隣郡高崎の門に通ず、皆其險要なり、○中略

按に當郡沿革考べからずといへども、倭名抄所載當郡郷名に入農造果といへるあり、入農は今之の豊田郡入野村是ならむ、古賀茂の地にて、後に豊田に入れるなるべし、造果は今之の造賀なるべし、此村今賀茂豊田兩郡の界にありて、雙方各同名の村あり、然るに倭名抄の造果當郡にのみ係て、豊田になければ、是又むかしは皆當郡の所部なりしにや、是古今疆界の異なるなり、且吉名木谷二村、今豊田に隸すれど、其他は遙に豊田を離れて賀茂の内に挿入たれば、かの二村も古は當郡